学校法人武蔵野東学園　　武蔵野東小学校

学 校 通 信

通算２５４号第６号

発行日
平成２４年１０月３１日

１年生だより　～「元気が一番１年生！！」～

９月の終わりに体育祭という大きな行事を終え、子どもたちは色々なことに自信を持って活動できるようになってきました。１０月３日にはＣＤＥ組の担任よりＡＢ組の児童へ「力を合わせて心を合わせて」という題で話をしました。体育祭で一緒に頑張った競技を振り返りながら、力を合わせることと同様に心を合わせることの大切さを伝えました。

１０日の総合では、「なかよしインタビュー」を行いました。ＣＤＥ組の友だちに、ＡＢ組の児童がインタビューをしました。誕生日や好きな食べ物、劇の配役などを聞きました。なごやかな雰囲気で進めることができ、より一層なかよくなりました。

ＣＤＥ組は高尾山へ宿泊学習に行きました。５月の宿泊学習と比べると、ハイキングではしっかりとした足どりで歩くことができ、食事やお風呂、ベッドメイキングを含め、一人でできることも増え、この半年間の成長が感じられました。また、学園祭で行う劇発表へ向けて練習をがんばっていますが、ＡＢ組の友だちも劇のフィナーレで歌う曲を一緒に歌って応援することになりました。２４日の学年活動では、練習の成果をＣＤＥ組の友だちに聞いてもらいました。上手に歌うことができ、拍手をもらえてうれしそうな様子でした。

１年間という期間を考えると、ちょうど折り返しに入った１０月。体調に気をつけ元気に過ごし実り多いこの秋で、心身ともにさらに成長していくことを期待します。

「なかよしインタビュー中」

「歌で応援！」

２年生だより　～「お互いに知ろう！」～

残暑の厳しかった夏が過ぎ、すっかり秋らしくなりました。すがすがしい陽気で子どもたちも生き生きしているように感じます。

３日、「お互いを知ろう」というテーマで友だちの良いところをメッセージカードに書いて伝える活動がスタートしました。たくさんの学年活動の中で、お互いの良いところを見つけ、葉っぱやどんぐりの形のカードに書いて伝えようという活動です。ＡＢ組の子どもたちに活動内容を話した直後から、友だちの良いところをカードに記入する姿が見られ、とてもあたたかい気持ちになりました。その姿を見たＣＤＥ組の子どもたちから、自分たちも書きたいという声が上がり、書き始めています。木の幹の形をした台紙に、葉っぱやどんぐりがどんどん増え、日に日に立派な木になってきています。木が完成したときに、みんなで名前を決める予定です。思いが詰まったこの木は、学園祭にて展示を予定しています。

１０日には、１０月のお誕生日会を行いました。今月は、”食欲の秋”ということで「ぼく・わたしの好きな食べ物」をスピーチしました。

現在、学園祭での展示や劇発表で一人ひとりの頑張りの成果が発表できるよう、準備や練習に取り組んでいます。どうぞご期待ください。

一緒にお掃除したよ！

劇の練習もがんばっています！

3年生だより　～「体験をひろげて」～

「お店の方へインタビュー」

「宿泊学習２日目・多摩動物公園」

１０月２日に３年生全員で近隣のスーパーマーケットへ見学に行きました。店内の様子をじっくりと見させていただいたり、普段は見ることのできないバックヤードの見学もさせていただきました。商品の種類や産地・売り場の配置・環境への取り組みなどを調べるなかで、お客さんが買い物しやすくなるための工夫をたくさん発見することができました。その後、ＡＢ組では商店街でインタビューをしながら買い物をするという体験学習を行いました。「おすすめの商品は何ですか？」「一日のお客さんは何人くらいですか？」など、子どもたちの質問に一つひとつ丁寧に答えてくださいました。

また１２日から１３日にかけての一泊で、ＣＤＥ組は「高尾の森わくわくヴィレッジ」へ秋の宿泊学習へ出かけました。１年生の時から年２回、わくわくヴィレッジでの宿泊学習は今年が最後です。子どもたちには、まとめの宿泊学習として「一人ひとりが自分の課題にしっかりと取り組むこと」「１，２年生の良いお手本となれるように」ということを話しましたが、指示をよくきいて素早く行動することができ、その目標をしっかりと達成できたように思います。春の宿泊学習の時と比べて、一段と成長した子どもたちの姿が印象的でした。

ほかにも、３月にかけて全員で取り組む「みそづくり」の仕込みなど、多くの体験をし、充実した学校生活を送ることができました。

4年生だより　～「みんなで一生懸命になれる４年生」～

「衣装を着て
みんなでがんばるぞ」

「劇オープニング曲歌入れ」

体育祭では一人ひとりが持てる力を精一杯出し切っている姿をご覧いただいたことと思います。当日の競技・演技の頑張りもさることながら、それぞれの役割での活躍も素晴らしいものがありました。体育部員は応援団や大道具係として、放送部員はアナウンスを担当し、プログラムの進行状況を見ながら仕事を確実に行っている姿に高学年としての責任感を感じました。当日だけでなく、放送部員はアナウンスや実況中継の練習を繰り返してきました。体育部員は前期から応援歌や振り付けの作成、練習の呼びかけを行い、毎日ＣＤＥ組や西館の下級生のところに行き、応援練習を先導してきました。その活躍に応えようと、学年でも朝の会には紅組はＡ組に、白組はＢ組に集合して練習を繰り返してきました。そこから学年の団結もさらに強まり、９８人の心が一つになって当日を迎えることができました。

その後はすぐに、学園祭で行われるＣＤＥ組による劇発表に向けての取り組みが始まりました。言語指導の一環として台詞を覚え、場面に合わせた表現をします。スポットを浴びて拍手を受けて、表現することへの自信に繋げていくものです。今回の取り組みの中では、４年生全員によるオープニングとエンディングに使用する曲へ、歌声を吹き込みました。仕上がりはバッチリ。ひとつになった瞬間でもありました。

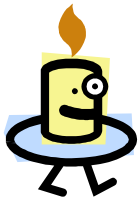
ＡＢ組の友だちの協力を糧に最終劇リハーサルと本番は、張り切って表現していきます。

５年生だより　～「収穫の秋」～

秋、収穫の季節。５年生の子どもたちは９月１２日の茨城県での稲刈りツアーに続き２回目の稲刈りを体験しました。１０月４日、今回は校庭にあるミニ水田の稲刈り作業です。５月の田植えから暑い夏休みも毎日当番で、世話、観察を続けた稲がようやく収穫の時期を迎えたのです。毎日遊びや体育で使用する校庭の片隅にある水田ですから子どもたちはいつも目にして、とても身近な存在になっています。それぞれの稲には番号がつけられており、子どもたちは自分が植え、観察してきた稲を刈る醍醐味を味わっていました。刈られた稲は束にして乾燥させ、後日脱穀作業を行いました。機械は使わずにあえて旧式の千歯こぎ、足踏み脱穀機を使って作業を行いました。社会科の先生からは「今日はこの脱穀作業を５年生全員でやりましたが、農家の方は通常２～３名程でやります。」というお話があり、改めて稲作の作業にかかる労力、お米一粒一粒の大切さを実感する瞬間になりました。５年生では田植えからこれまでの作業を各クラス混合のグループごとに行い、絆を深めてきました。１１月にはここで収穫したお米の試食会（おにぎりパーティー）も一緒に楽しむ予定です。

校庭の稲刈り

１０月１６日～１８日はＣＤＥ組が２泊３日で山梨県上野原市での宿泊学習に出かけました。秋晴れの中、周辺の山でのハイキングや相模湖プレジャーフォレストでのキャンドル作りやアスレチックを楽しんで帰ってきました。往復はＪＲ中央本線を利用しましたが、公共の交通機関にもすっかり慣れてきました。



脱穀作業

６年生だより　～「ゆずりはら宿泊学習＆鎌倉学習」～

ＣＤＥ組は、１６日～１８日の２泊３日で、山梨県の「ゆずりはら青少年自然の里」へ宿泊学習に行ってきました。１日目はハイキング、２日目は相模湖プジャーフォレストでキャンドル作りやアスレチックを体験しました。両日とも天候にも恵まれ、さわやかな秋の風を感じながら楽しむことができました。３日間、最上級生として自覚を持って過ごすことができ、一人ひとりが頑張っていました。宿舎での布団運びや配膳などみんなで協力をして進めていく姿に成長を感じました。今回で最後となるゆずりはらでの宿泊でしたが、仲間と多くのことを学び、絆を深めることができました。

ＡＢ組は２４日に気持ちの良い秋晴れの下、鎌倉学習へ出かけました。江ノ島電鉄に乗ったり、由比ヶ浜で砂鉄取りをしたり、ハイキングコースを歩き、銭洗い弁天や源氏山公園、寿福寺や鶴岡八幡宮も訪れました。子どもたちにとっては、銭洗い弁天でお金を洗ったことやおみくじを引いたこと、ハイキングをして疲れたこと、鶴岡八幡宮で参拝前に手水をしたこと、大銀杏の姿を見たことなど、すべての体験を通して“鎌倉”を肌で感じてきました。そして、平安時代に源氏と平氏の間で多くの合戦を交えた後、源頼朝が鎌倉の地にどうして幕府を開いたのかを、自分の足で歩き、自分の目で見て学ぶことができました。「また家族で行きたい」「もっと歩いて見て回りたい」という声も多くあり、子どもたちにとって、思い出に残る印象深い一日となったようです。

「楽しかったアスレチック！」

「大仏と一緒にハイポーズ！」

保 健 室 よ り

11月8日は、『いい歯の日』です。
「かむ」ことの大切さ

- **むし歯予防**：よくかむと、唾液がたくさんでます。唾液は、むし歯や歯周病の原因となる細菌が歯についてしまうのを防ぎます。
- **肥満の予防**：よくかんで食べると、お腹がいっぱいと感じるのがはやくなるので、食べ過ぎを防ぎます。よくかまずに急いで食べると、おなかいっぱいになるまでに時間がかかり、ついつい食べ過ぎてしまいます。
- **体の免疫力を高める**：かむことによって脳の中の神経細胞が活発になり、病気などの外敵から身を守る“免疫”の力が高くなります。
- **頭が良くなる？**：かむことにより脳の中の血行がよくなって脳細胞の働きが活発になり、学習能力が上がるといわれています。
- **消化・吸収がよくなる**：食べ物を細かくかみ砕くことによって、胃や腸での消化・吸収がされやすくなり、胃腸の調子がよくなります。
- **顔の筋肉のバランスがよくなる**：かむことによって顔全体の筋肉が鍛えられます。よくかまないと、顔の筋肉のバランスが崩れてしまい、顎関節症などの原因になります。
- **顎の発育を助ける**：よくかむことで、顎の骨や筋肉がしっかり成長します。逆にかまないと顎が鍛えられません。顎がきちんと成長しないと、歯がはえる場所ができない為、歯並びが悪くなる大きな原因にもなります。

武蔵野東中学校情報

先日のスポーツ大会では、遠投王（ハンドボール投げ）の種目で、3年男子が58mという大記録を出し10年ぶりの記録更新を成し遂げました。東小からも多くご来場いただき、ありがとうございました。

さて、いよいよ学園祭一色の時期となります。クラスごとに企画し運営する模擬店は、店長を中心にして運営マニュアル、衛生マニュアルなどの準備が大詰めに入っています。運営マニュアルの中には「お客様の苦情への対応」といった項目もあります。自分たちがもてなす側になることが先にあり、そして自分たちも楽しむ学園祭であるのが中学生らしいところです。今年は2年生AB全員の『研究活動』を展示します。自分の選んだテーマを掘り下げて、「調べ学習」ではなく「研究」にまで発展させた成果をご覧いただきたく思います。実行委員会が発行する中学校の独自パンフレットや大看板の制作も着々と進んでいます。どうぞ東小の皆さんもお越しになって、一日をお楽しみください。（9:45からの劇発表は、9:15体育館開場となっています。体育館前で並んでお待ちいただくことはできませんので、時間に合わせておいでください。）

また部活動ですが、陸上部の2名が全国ジュニアオリンピック（10/28　日産スタジアム）に出場しています。

第２回　JoyDayが行われました

１０月２０日（土）いいお天気の中、２回目のＪｏｙＤａｙが行われました。朝早くからＥｎｊｏｙのお父さん達とＪｏｙＤａｙサポーターの皆さんが準備のために集まり、細長いロール状の紙を校庭いっぱいに広げてくださいました。

校庭に広げられた巨大な白いキャンバスや、ユニークな形をした白いモニュメントが現れ、子どもたちの期待は一気に膨らみました。今年のテーマは「遊」。とても大きな紙に、それぞれ思い思いに、のびのびと絵を描くことができました。また、白いつなぎを着たお父さんたちが、自ら動くキャンバスとなってくれました。どの子も笑顔いっぱいで大満足の一日になりました。

世界に一つだけの
混合教育を実践している
武蔵野東学園　武蔵野東小学校